

## 環境審議会（平成28年度第1回）顛末

日 時 平成28年10月11日（月）10時00分～11時00分

場 所 市役所大会議室

出席者 委員：家次敬介、高橋穰二、石川 芳、白木泰伸、矢部 豊、今福百合子  
横井弘道、田村啓一、小川彩子、西野成紀

（欠席委員）鎌田直人、有澤 浩、市村英規、菅原義人、跡部昇一、南部栄一

事務局：市民生活部長 長沢和之、環境課長 関根嘉津幸、環境係長 末松千幸  
環境係 加門賢裕

1. 開会（進行：関根）
2. 辞令交付
3. 市長挨拶
4. 正副会長選任
  - ・委員長、副委員長の選出方法について意見がなければ事務局案を提案することで了承
  - ・会長には高橋委員、副会長には家次委員を推薦。
  - ・事務局案を各委員に諮り、承認される。
5. 議事（議長：高橋委員）
  - （1）環境基本計画の進行管理について  
※事務局（加門）より、事前配布資料1 環境白書について説明
  - （2）環境基本計画の見直しについて  
※事務局（加門）より、事前配布資料2 環境基本計画見直し案について説明

高橋委員

GAPについて、GAPからJGAPに変更したとのことですが、JGAPとGAPの違いについて記載してはどうか。

事務局（加門）

わかるように記載します。

高橋委員

東京大学演習林との森林環境教育プログラムについての進捗状況について教えてほしい。

田村委員

市内小学校のうち、H28は試行ということで、樹海小学校、山部小学校、富良野小学校が行い、H29から市内小中学校一斉にスタートということで準備を行っています。

しかし、児童生徒の発達状況や学校の規模も違うので、各学校で検討している最中です。

高橋委員

実際に3校で試行してどうだったのでしょうか。

田村委員

今回は1クラスに3名のガイドがついてくれが、学校としてはもう少しガイドを多くつけていただきたい要望がある。課題として、「ガイドの人材育成」「スズメバチなどの対策」「倒木等」子どもたちの安全管理がある。実際には、東大演習林で準備をすすめていただいて歩きやすく、スズメバチなども出たわけではないが、子どもたちの安全雁の部分で行政側の準備が大変なのかと思う。参加した子ども達は、そのような経験が少ないので、効果があったのかなと思う。学習内容については、旭川教育大学に教育プログラムをつくっていただいているので、今後は手直ししながらどの学校でも利用しやすいプログラムに改善していく方向で進めてもらっています。

高橋委員

安全管理という部分でどの時期に行うのかということも必要だともう。前回の環境基本計画策定時には、審議会で森の中を歩くなどを行った。普段見ることのできない体験であった。せっかくのプログラムなので、今後、幅広い世代に体験できるような形になっていけばと思う。

家次委員

重点プロジェクトで「農業における再生可能エネルギーの導入検討」とあるが、特に農業に特化した施策はありますか。具体的にしなければ「産業」にしてもいいのではないかな。

事務局

農業に特化したものはないので、産業に変更します。

高橋委員

導入の検討について検討はすすんでいますか。

事務局（関根）

再生可能エネルギーについては、化石燃料の価格が大きく影響してくる。太陽光パネルなども導入しているところもありますが、どのような再生可能エネルギーが導入できるのかというところで、小水力は協議会においてどう活用していくかを検討したり、木質バイオマスについては、家庭用でペレットストーブ補助金を交付したりしている。まだ、産業で導入には結びついていないが、環境づくりを行っている段階です。

高橋委員

中間見直しということで、総合計画の踏襲になっていますが、総合計画に審議会としての意見を反映できるようにしていただきたかった。

### (3) その他

※事務局（加門）より環境基本計画の見直しのスケジュールを説明。

## 6. 閉会